

選定基準別提案内容と事業実績の確認

施設名	相模湖漕艇場
指定管理者名	相模湖観光協会・神奈川県ボート協会グループ
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	スポーツ課

選定基準大項目	評価項目				審査（評価）の視点（C）	提案内容（D）	指定期間 令和4年度の事業実績（E）	所管課による課題分析等（F）	事業実績の確認方法（G）			
	選定基準中項目（A）	小項目（B）	配点	選定時の評価点					実績報告書	現地※	その他	
I サービスの向上	(1)	指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等	基本姿勢及び管理運営方針	5	4	【共通】 ○指定管理業務全般を通じた団体等の総合的な運営方針、考え方	○公園と密接に関係している湖畔商店街や遊船協同組合、魚対策組合等の地元隣接関係者と一丸となった管理運営を行う。	○相模湖漕艇場の水域等における運営委員会を開催し、各関係団体の意向を尊重しながら日程調整等を行った。	施設周辺の関係者との連携等は非常に重要であることから、引き続き、必要な連携等を深めるように努めていただきたい。	○		
						○相模湖公園と相模湖漕艇場の一体的な管理運営に当たっての基本的な考え方 ・横断的な施設の管理運営体制 ・イベントの開催をはじめとする両施設の連携、協力等 ・一体的な管理運営による経費節減の考え方、効果等	○双方の職員が協力した対応を取ることで、サービス向上を図る。	○相模湖公園との一体的な管理運営が定着化し、スロープの清掃作業、イベント等で職員同士の協力体制がとれた。	一体的な管理運営を実施することで、サービス向上が図られていることから、引き続き、協力体制をとるよう努めていただきたい。	○		
						○両施設固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針	○相模湖の眺望と親水性を有する公園として、県民に親しまれる公園とする。	○湖畔の眺望を維持するため、相模湖公園と連携し、大雨後に流れ着いた流木やゴミの清掃を実施した。	県民に親しまれる公園となるような対応を取っていることから、引き続き、適切な管理運営に努めていただきたい。	○		
						○利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針	○公園と密接に関係している湖畔商店街や遊船協同組合、魚対策組合等の地元隣接関係者と一丸となった管理運営を行う。 ○行政や団体等とタイアップしたボート教室や市民大会開催	○相模湖漕艇場の水域等における運営委員会を開催し、各関係団体の意向を尊重しながら日程調整等を行った。 ○ボート教室を年3回開催し、相模原市内の中学生64名が参加した。	利用者や周辺住民等に寄り添った事業等を実施しており、引き続き、配慮した事業を実施していただきたい。	○		
						○業務の一部を委託する場合の考え方、業務内容等（委託先の選定方法、県内（地域）企業への委託の考え方）	○近隣業者を優先的に選定する。	可能な限り近隣業者を優先的に選定した。	必要に応じ最適な業者への業務委託を行った。 今後も設置目的に基づき、利用者が快適に利用できるような施設管理に努めていただきたい。	○		
						【相模湖漕艇場】 ○スポーツ・競技振興に関する考え方 ・将来に向けたパラローイングを含むボート競技の競技の人口拡大や競技者の育成についての考え方	○生涯スポーツ、障がい者スポーツとしてのボート競技の普及 ○世界選手権、オリンピック・パラリンピック大会等の出場者が輩出される練習環境の整備	高齢者や障がい者の利用に配慮することで、誰もが安心して楽しめる生涯スポーツとしてのボート競技の普及推進に努めた。	競技振興のために必要な事業を実施しており、引き続き、ボート競技普及に向けた取組を実施していただきたい。	○		
	(2)	施設の維持管理	都市公園施設及びスポーツ施設、植物の維持管理業務の実施方針	10	8	【共通】 ○一体的な管理運営による効率的な維持管理（経費節減効果を含む）	○保守点検等を一体で実施	○艇の保守点検や、水上施設・コースブイ等の設置・撤収等、職員が修繕できる箇所は随時対応し、経費節減と利用環境の改善を図った。 ○ボート用シューズ及びシューズプレートの更新や、機械警備機器設置等の小規模修繕を実施し、施設の老朽化が著しい中でも快適なサービスを提供できるよう努めた。	効率的な維持管理で経費節減を行うとともに、利用環境の改善も実施できていることから、引き続き、利用者目線での業務を続けていただきたい。	○		
						○両施設の特性と課題を踏まえた維持管理の考え方	○艇のメンテナンス、コース用ロープ・ブイの設置・撤収及びメンテナンス	○艇の保守点検や、水上施設・コースブイ等の設置・撤収等、職員が修繕できる箇所は随時対応し、経費節減と利用環境の改善を図った。	職員が積極的に修繕等を行うことで、経費節減と利用環境の改善がされたことから、引き続き、適切な管理運営に努めていただきたい。	○		
						○施設保守点検業務、小破修繕業務等の実施方針	○可能な限り専門的知識を持つ県内近隣業者へ委託	可能な限り近隣業者を優先的に選定した。	必要に応じ最適な業者への業務委託を行った。 今後も設置目的に基づき、利用者が快適に利用できるような施設管理に努めていただきたい。	○		
						○清掃業務、受付業務、警備業務等の実施方針	○受付は経験豊かな職員が対応 ○平日は朝昼夜4回ゴミ拾いを兼ねたパトロールを実施	○専門的な清掃業務については、委託業者に発注をしているが、それ以外の清掃については、漕艇場職員等に対応した。 ○受付業務や電話対応などについて、適切な対応を実施した。 ○定期的なパトロールを実施した。	必要に応じ最適な業者への業務委託を行った。 今後も設置目的に基づき、利用者が快適に利用できるような施設管理に努めていただきたい。	○		
					○樹林地や草地の管理、樹木、芝生、草花などの植物管理業務等の実施方針	○専門性を有する作業は委託	専門的な清掃業務については、委託業者に発注をしているが、それ以外の清掃については、漕艇場職員等に対応した。	必要に応じ最適な業者への業務委託を行った。 今後も設置目的に基づき、利用者が快適に利用できるような施設管理に努めていただきたい。	○			

評価項目					審査（評価）の視点 （C）	提案内容 （D）	指定期間 令和4年度の事業実績 （E）	所管課による課題分析等 （F）	事業実績の確認方法 （G）			
選定基準 大項目	選定基準中項目 （A）	小項目 （B）	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他	
I サービスの向上	(3)	利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	10	7	【共通】 ○両施設の特性や利用状況（繁忙期・閑散期等）	○やまなみ祭、さがみ湖湖上祭花火大会、相模湖レガッタ、クリスマスイルミネーションなど、閑散期も含めた多様なイベントの開催 ○サービスエリアや大きなイベントでのPR、八王子市観光協会や相模湖まちづくりセンターとタイアップによるPRなど多くの利用を図るための広範囲な広報の実施	○利用者は前年度より3,365人増加したものの、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、目標達成率は約64%に留まった。 ○高校生の年間予定を事前に把握し、合宿等にあわせて利用時間を拡大するなど、周辺の湖面利用者との円滑な調整を行った。 ○県高体連等の主催による大会運営に協力した。また、日本初の「バーチャルインドアローイング大会」のエルゴマシンの利用に協力した。 ○日本パラローイング委員会による強化合宿や「障がい者向け乗艇体験会」に協力した。	利用状況については、新型コロナウイルス感染症対策のため目標を達成することができなかった。 感染症対策の状況が落ち着いたら、利用人数の回復に努めていただきたい。	○			
					○有料施設における利用者増及びサービス向上に資する事業の実施方針、内容	○県内の中学生を中心に選手の育成を兼ねたボート教室や市民大会	○ボート教室を年3回開催し、相模原市内の中学生64名が参加した。	ボート競技の魅力を伝える事業を適切に実施できており、継続的に実施していただきたい。	○			
					○多くの利用を図るために行う広報・情報発信の工夫等	○HPやボート教室の開催等で広報等を行う	○相模湖漕艇場のホームページに各大会のお知らせや結果を掲載し、利用促進のPRを行った。 ○ボート教室を年3回開催し、相模原市内の中学生64名が参加した。	ボート競技の魅力を伝える取組を適切に実施できており、継続的に実施していただきたい。	○			
					○両施設の特性をより効果的に活かすために行う自主事業の内容等	○県内の中学生を中心に選手の育成を兼ねたボート教室や市民大会	○ボート教室を年3回開催し、相模原市内の中学生64名が参加した。	提案書に従って適切に実施している。 引き続き、適切な管理運営に努めていただきたい。	○			
					○利用料金の設定、減免の考え方（有料施設がある場合のみ）	○心身に障害がある者、高齢者、高校生、大学生は減免	減免を実施し、障がい者や高齢者等から、良心的な金額であると評価された。	今後も、利用者目線に立った施設運営に努めていただきたい。	○			
					○両施設を一体的に運営することにより展開する、利用促進のための企画・取組	○イベント開催時等に両施設職員が参加することで、利用者の利便性を向上させる	○イベント開催時等に両施設職員が参加した。	一体的な管理運営を実施することで、サービス向上等が図られていることから、引き続き、協力体制をとるよう努めていただきたい。	○			
					○接客や利用者との対話、利用ルールの利用者への助言、指導等の考え方	○常におもてなしの心を持ち接する	利用者や円滑なコミュニケーションを図り、丁寧に対応した。	利用者目線に立ったサービスを行うために、引き続き、必要な対応を実施していただきたい。	○			
					○サービス向上のために行う利用者ニーズ・苦情の把握及びその内容の事業等への反映の仕組み等	○年2回実施するアンケート等で利用者のニーズを把握	利用者満足度調査を7月（上半期分）と10月（下半期分）に行うとともに、要望事項については、必要に応じて対応した。	利用者目線に立ったサービスを行うために、引き続き、必要な対応を実施していただきたい。	○			
					○外国人、障がい者、高齢者等誰もが円滑に施設利用するための、コミュニケーションにおける工夫及び必要に応じた支援の方針	○バリアフリー化を進めるとともに、翻訳ソフトを導入	バリアフリー化を進めるとともに、翻訳ソフトを導入した。	利用者目線に立つために必要な対応を取っており、引き続き、継続していただきたい。	○			
					○神奈川県手話言語条例への対応	○筆談を実施するとともに、必要に応じて手話団体と連携	筆談機を設置した。	利用者目線に立つために必要な対応を取っており、引き続き、継続していただきたい。	○			
					【相模湖漕艇場】 ○より多くの利用を図るために実施するパラローイングを含むボート競技等の振興に関する取組の実施方針、内容等 ・将来に向けた競技人口の拡大、競技者の育成及びボート競技に対する県民への周知・理解についての取組	○県内の中学生を中心に選手の育成を兼ねたボート教室や市民大会 ○日本パラローイング委員会の強化練習、合宿への協力	○高校生の年間予定を事前に把握し、合宿等にあわせて利用時間を拡大するなど、周辺の湖面利用者との円滑な調整を行った。 ○県高体連等の主催による大会運営に協力した。また、日本初の「バーチャルインドアローイング大会」のエルゴマシンの利用に協力した。 ○日本パラローイング委員会による強化合宿や「障がい者向け乗艇体験会」に協力した。	競技振興のために必要な事業を実施しており、引き続き、ボート競技普及に向けた取組を実施していただきたい。	○			
					【共通】 ○接客や利用者との対話、利用ルールの利用者への助言、指導等の考え方	○常におもてなしの心を持ち接する	利用者や円滑なコミュニケーションを図り、丁寧に対応した。	利用者目線に立ったサービスを行うために、引き続き、必要な対応を実施していただきたい。	○			
					○ サービス向上のために行う利用者ニーズ・苦情の把握及びその内容の事業等への反映の仕組み等	○年2回実施するアンケート等で利用者のニーズを把握	利用者満足度調査を7月（上半期分）と10月（下半期分）に行うとともに、要望事項については、必要に応じて対応した。	利用者目線に立ったサービスを行うために、引き続き、必要な対応を実施していただきたい。	○			
					○ 外国人、障がい者、高齢者等誰もが円滑に施設利用するための、コミュニケーションにおける工夫及び必要に応じた支援の方針	○バリアフリー化を進めるとともに、翻訳ソフトを導入	バリアフリー化を進めるとともに、翻訳ソフトを導入した。	利用者目線に立つために必要な対応を取っており、引き続き、継続していただきたい。	○			
○ 神奈川県手話言語条例への対応	○筆談を実施するとともに、必要に応じて手話団体と連携	筆談機を設置した。	利用者目線に立つために必要な対応を取っており、引き続き、継続していただきたい。	○								
				5	4							

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)				
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他		
I サービスの向上	(4)	事故防止等安全管理	日常の事故防止、緊急時の対応	10	7	<ul style="list-style-type: none"> 【共通】 ○ 指定管理業務を行う際の両施設の特性を踏まえた事故防止等の取組内容 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域、特に湖畔自治会と連絡を密にしなが、防犯対策を行う ○ 「神奈川県立相模湖救助マニュアル」「相模湖湖面利用安全マニュアル」の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「神奈川県立相模湖救助マニュアル」「相模湖湖面利用安全マニュアル」を相模湖公園と合同で作成した。 ○ 防犯カメラを設置し、監視による犯罪防止に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> マニュアル整備によって、利用者の安全・安心な利用に繋がっており、引き続き、適切な管理運営に努めていただきたい。 	○			
						<ul style="list-style-type: none"> ○ 樹林地の過密化や巨木化等に起因する災害を未然に防止する点検等の考え方 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1日4回のパトロールをするとともに、異常があれば必要な対応を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 1日4回のパトロールを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な安全対策を行うことで、利用者の安全・安心な利用に繋がっており、引き続き、適切な管理運営に努めていただきたい。 	○			
						<ul style="list-style-type: none"> ○ 事故・不祥事等の緊急事態が発生した場合や安全管理の妨げとなりうる事案を認知した際の対応方針（対応方針には、利用者に外国人や障がい者、高齢者が含まれていた場合を含む） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 園内における事故や災害防止に努め、万一事故等が発生した場合は利用者並び地域住民の安全確保の体制を取る 	<ul style="list-style-type: none"> 水害防止や施設点検マニュアル等に沿って、日常の作業の安全対策を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な安全対策を行うことで、利用者の安全・安心な利用に繋がっており、引き続き、適切な管理運営に努めていただきたい。 	○			
						<ul style="list-style-type: none"> ○ 急病人等が生じた場合の対応・救急救命士等の配置、救命に関する職員研修等 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「神奈川県立相模湖救助マニュアル」「相模湖湖面利用安全マニュアル」の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 「神奈川県立相模湖救助マニュアル」「相模湖湖面利用安全マニュアル」を相模湖公園と合同で作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な安全対策を行うことで、利用者の安全・安心な利用に繋がっており、引き続き、適切な管理運営に努めていただきたい。 	○			
						<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス等の感染症に対する対応方針 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス等の感染防止に向けた周知等を実施するとともに対策を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス等の感染防止に向けた周知等を実施するとともに対策を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス等の感染防止に向けて、必要な対応を行っており、今後も必要な対策を実施していただきたい。 	○			
						<ul style="list-style-type: none"> 【相模湖漕艇場】 ○ ボート競技の危険性に鑑み、指定管理業務を行う際の事故防止等の安全確保に関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ○ セーフティアドバイザーの受講、「小型船舶操縦免許証」の携帯 ○ 利用者（指導者）向けのセーフティアドバイザー講習会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「相模湖漕艇場救助マニュアル」に基づき、利用者の転覆等に対して適切に対応した。 ○ 「相模湖漕艇場湖面利用安全マニュアル」に基づき、荒天時には適切な出艇判断を行った。 ○ 単身の乗艇者には必ずトランシーバー・救命具を携帯させた。 ○ 「セーフティアドバイザーの受講」や「利用者（指導者）向けのセーフティアドバイザー講習会の開催」は新型コロナウイルス感染症対策の為、受講及び開催ができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ボート競技の安全な実施のため必要な取組を行っており、引き続き、安全確保に努めていただきたい。 	○			
	(5)	地域と連携した魅力ある施設づくり	地域との連携体制、取組	災害への対応（事前、発生時）	5	4	<ul style="list-style-type: none"> 【共通】 ○ 異常気象（大雨、台風、熱中症アラート等）への対応方針（事前、初動、発生時、応急復旧時） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 注意喚起等を行うとともに、被害状況等を報告 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「相模湖漕艇場湖面利用安全マニュアル」に基づき、荒天時には適切な出艇判断を行った。 ○ 大規模災害発生時への備えとして、年2回の防災訓練を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の安全・安心な利用のために、必要な対策を実施しており、引き続き、継続していただきたい。 	○		
							<ul style="list-style-type: none"> ○ 公園の「震災時対応の考え方」に示す初動体制等への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 注意喚起等を行うとともに、被害状況等を報告 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「危機管理マニュアル」を相模湖公園と合同で作成した。 ○ 水害防止や施設点検マニュアル等に沿って、日常の作業の安全対策を図った。 ○ 大規模災害発生時への備えとして、年2回の防災訓練を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の安全・安心な利用のために、必要な対策を実施しており、引き続き、継続していただきたい。 	○		
							<ul style="list-style-type: none"> ○ 大規模災害発生時の公園の特性、立地状況等に応じた災害対応の考え方（地域との連携、防災訓練、災害発生時の協力等） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域自治会と連携するとともに、防災訓練を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水害防止や施設点検マニュアル等に沿って、日常の作業の安全対策を図った。 ○ 大規模災害発生時への備えとして、年2回の防災訓練を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の安全・安心な利用のために、必要な対策を実施しており、引き続き、継続していただきたい。 	○		
							<ul style="list-style-type: none"> 【相模湖漕艇場】 ○ 2kmコースを維持するための異常気象への事前対策及び発生時対策の取組内容 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コースのブイ等の撤去方法を記載 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作成した各種マニュアルに基づいて、日常の作業や利用者の安全対策を図った。 ○ 大規模災害発生時への備えとして、年2回の防災訓練を実施した。 ○ 1,750m水上判定台に吹流しを設置したことで、風速の判断が目視で出来るようになり、乗艇の安全性が向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ボート競技の安全な実施のため必要な取組を行っており、引き続き、安全確保に努めていただきたい。 	○		
							<ul style="list-style-type: none"> 【共通】 ○ 多様な主体（地域人材、自治会、関係機関）との連携、協力体制の構築等の取組内容 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域自治会等と連携した事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公共施設として、学校、相模原市スポーツ協会や公園の事業に協力した。 ○ 相模原市立ふるさと体験教室の活動に協力し、中学生によるボート体験を実施した。 ○ 相模原市商工会による「足こぎスワン世界大会」のコースや浮き桟橋の設置等に協力した。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設周辺の関係者との連携等は非常に重要であることから、引き続き、必要な連携等を深めるように努めていただきたい。 	○		
							<ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティア団体等の育成・連携、協働の取組内容 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民レガッタ運営委員等にボート教室や大会運営の協力を求める ○ 湖畔商店会や幼稚園等と連携した花植えや養護学校等と連携した園内清掃の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公共施設として、学校、相模原市スポーツ協会や公園の事業に協力した。 ○ 相模原市立ふるさと体験教室の活動に協力し、中学生によるボート体験を実施した。 ○ 相模原市商工会による「足こぎスワン世界大会」のコースや浮き桟橋の設置等に協力した。 ○ 市民レガッタ運営委員等によるボート教室は実施できなかったが、湖畔商店会や幼稚園等と連携した花植えや養護学校等と連携した園内清掃を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設周辺の関係者の事業に協力することで、必要な連携等が強化されており、引き続き、必要な連携等を深めるように努めていただきたい。 	○		

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)		
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他
I サービスの向上	(5)	地域と連携した魅力ある施設づくり	5	4	○周辺施設（他の公園・施設等）との交流・連携の内容	○JR東日本と連携した、関東一円から参加者を募集する散策めぐりや、さがみ湖プレジャーフォレスト、相模湖交流センター、相模原市、ふるさと自然体験教室などとの多様な連携による公園の魅力アップ策	○公共施設として、学校、相模原市スポーツ協会や公園の事業に協力した。 ○相模原市立ふるさと体験教室の活動に協力し、中学生によるボート体験を実施した。 ○相模原市商工会による「足こぎスワン世界大会」のコースや浮き桟橋の設置等に協力した。 ○さがみ湖プレジャーフォレストと連携事業は実施したが、その他事業については新型コロナウイルス感染症対策等で実施できなかった。	施設周辺の関係者の事業に協力することで、必要な連携等が強化されており、引き続き、必要な連携等を深めるように努めていただきたい。	○		
					○一体的な管理における地元企業への業務委託等による迅速かつきめ細かいサービスの提供に向けた取組内容	○一括発注等により経費削減を図るとともに、可能な業務については市内業者へ委託する	可能な限り近隣業者を優先的に選定し、一括発注等により経費削減を図った。	必要に応じ最適な業者への業務委託を行った。 今後も設置目的に基づき、利用者が快適に利用できるような施設管理に努めていただきたい。	○		
					【相模湖漕艇場】 ○地域振興に関する取組 ・集客促進や地域経済の活性化につながる企画、地域活性化に資する取組等	○地域イベント実行委員として、各種イベントを開催するとともに、関東レベルの大会を積極的に誘致する	○相模原市商工会による「足こぎスワン世界大会」のコースや浮き桟橋の設置等に協力した。	施設ならではのイベントに協力することで、地域振興に繋がった。引き続き、必要な協力を行っていただきたい。	○		
III 団体の業務遂行能力	(9)	コンプライアンス、社会貢献	5	4	【共通】 ○指定管理業務を実施するために必要な団体等の企業倫理・諸規程の整備、施設設備の維持管理に関する法規や労働関係法規などの法令遵守の徹底に向けた取組の状況(労働条件審査の実施予定など施設職員に係る労働条件の確認の有無を含む)	○法令遵守等の意識を高めるための研修等を実施	○関係する法令を遵守するように情報の共有を実施した。	個人情報の適切な管理を実施できており、今後もこれらの取組を継続していただきたい。	○		
					○指定管理業務を行う際の環境への配慮の状況	○湖岸のゴミ除去等を行うとともに、園内のパトロールを実施	湖岸のゴミ除去等、園内のパトロールを実施した。	必要な配慮等を実施できており、引き続き、適切な管理運営に努めていただきたい。	○		
					○法定雇用率の達成状況等、障害者雇用促進の考え方と実績	○適任者がいた場合には採用（相模湖観光協会、神奈川県ボート協会とともに雇用義務なし）	適任者がいなかったため、採用なし。	適任者がいた場合、積極的に採用していただきたい。	○		
					○障害者差別解消法に基づく合理的配慮など、「ともに生きる社会かながわ憲章」の主旨を踏まえた取組	○施設整備を行うとともに、丁寧な案内を実施	バリアフリー化を進めるとともに、翻訳ソフト、筆談機を導入した。	利用者目線に立つために必要な対応を取っており、引き続き、継続していただきたい。	○		
					○神奈川県手話言語条例への対応	○筆談を実施するとともに、必要に応じて手話団体と連携	筆談機を設置した。	利用者目線に立つために必要な対応を取っており、引き続き、継続していただきたい。	○		
	○社会貢献活動等、CSRの考え方と実績、SDGs（持続可能な開発目標）への取組	○バリアフリー化を進めるとともに、翻訳ソフトを導入	バリアフリー化を進めるとともに、翻訳ソフトを導入した。	利用者目線に立つために必要な対応を取っており、引き続き、継続していただきたい。	○						
(10)	事故・不祥事への対応、個人情報保護	5	4	○募集開始の日から起算して過去3年間の重大な事故または不祥事の有無ならびに重大な事故等があった場合の対応状況及び再発防止策構築状況	○該当なし	○該当なし	引き続き、事故等のないようにしていただきたい。	○			
				○個人情報保護についての方針・体制、職員に対する教育・研修体制及び個人情報の取扱いの状況	○県等関係機関による個人情報保護関係研修資料を周知	○神奈川県ボート協会のプライバシーポリシーに基づき、副場長を責任者として統括管理を行い、個人情報等の適切な管理を行った。	個人情報の適切な管理を実施できており、今後もこれらの取組を継続していただきたい。	○			

※「事業実績の確認方法(G)」欄のうちの「現地」の欄は、「指定期間 令和4年度の事業実績(E)」欄の実績を現地で確認したことを示すもの。

選定基準別提案内容と事業実績の確認
(施設写真)

施設名	相模湖漕艇場
指定管理者名	相模湖観光協会・神奈川県ボート協会グループ
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	スポーツ課

※施設の概要が分かる写真を3～4枚程度掲載

	
管理棟 外観	艇庫
	
トレーニングルーム	